

## Ⅱ 主な事業

経済・  
雇用

雇用を生み出す力強い街

# 重点政策 1

◎ : 新規  
○ : レベルアップ

P 13	企業立地促進事業	130,000	経) 産業振興部	P 20	◎ プレミアム付旅行券事業	148,000	観) 観光コンベンション部
P 14	IT産業の成長促進			P 21	国際観光促進・海外シティプロモート		
	○ IT利活用ビジネス拡大事業	6,000	経) 産業振興部		○ 国際観光促進事業	76,500	観) 観光コンベンション部
	○ IT-バイオ連携推進事業	14,000	経) 産業振興部		○ 海外シティプロモート推進事業	56,000	総) 国際部
	◎ IT産業海外展開支援事業	7,500	経) 産業振興部	外国人観光客の受入環境向上			
P 15	◎ 健康関連産業ビジネスモデル構築支援事業	6,000	経) 産業振興部	P 22	外国人観光客の受入環境向上		
P 16	○ 中小企業金融対策資金貸付	616,000	経) 産業振興部		○ 観光企画宣伝	11,000	観) 観光コンベンション部
魅力ある商業地の創出					○ 観光施設運営管理	34,000	観) 観光コンベンション部
P 17	○ 地域商店街支援事業	54,500	経) 産業振興部	○ 札幌いんふお運営	3,000	観) 観光コンベンション部	
	◎ まちなかインバウンド促進事業	5,000	経) 産業振興部	P 23	○ 定山溪地区魅力アップ事業	21,000	観) 観光コンベンション部
P 18	○ 大谷地流通業務団地高度化・効率化調査検討事業	10,000	経) 産業振興部	P 24	○ MICE・観光客受入環境整備事業	40,000	観) 観光コンベンション部
P 19	観光イベントの魅力向上			MICE誘致の推進			
	○ さっぽろ雪まつり魅力アップ事業	95,000	観) 観光コンベンション部	P 25	MICE誘致の推進		
	○ さっぽろオータムフェスト事業	5,000	観) 観光コンベンション部		◎ MICE施設整備検討事業	5,500	観) 観光コンベンション部
	◎ さっぽろホワイトイルミネーション魅力アップ事業	50,000	観) 観光コンベンション部	○ コンベンションビューロー運営費補助	7,500	観) 観光コンベンション部	

経済・  
雇用

～雇用を生み出す力強い街  
企業立地促進事業

目的

雇用創出と産業振興のため、企業立地を促進

事業内容

コールセンター・本社機能、IT・コンテンツ企業、食・バイオ産業等の立地を促進するため、企業誘致PRや立地企業に対する補助等を実施

補正予算額

・立地促進補助金 130,000千円

当初予算額

・広報・PR 12,358千円  
 ・企業情報収集等 5,326千円  
 ・立地促進補助金 414,816千円

補正予算額 事業費 130,000千円  
 (一般財源 130,000千円)

(単位：千円)

	H26当初予算	H27当初予算
事業費	546,500	432,500
(うち一般財源)	(546,500)	(432,500)

補助件数

ビジネス拠点としての札幌の魅力を発信し、12件の新規補助を目標に立地を促進

(単位：件)

補助件数	補正予算	当初予算	合計
①コールセンター・本社機能	3	13	16
②IT・コンテンツ・バイオ	9	15	24
③製造業等(札幌圏)		21	21

※補正予算：27年度新規補助件数

当初予算：立地済又は立地決定済企業への補助件数

経済・  
雇用

～雇用を生み出す力強い街  
I T 産業の成長促進

目的

市内に集積する I T 産業の活性化と安定的で持続可能な成長を促進するため、札幌市経済をけん引する食・バイオといった重点分野と I T 産業との融合によるイノベーションを創出するとともに、市内 I T 産業の海外展開を支援

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	18,455	18,192	6,000
	(うち一般財源)	(18,455)	(18,192)	(6,000)
②	事業費	3,300	0	14,000
	(うち一般財源)	(3,300)	(0)	(14,000)
③	事業費	0	0	7,500
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(7,500)
H27補正予算 特定財源の内訳				

① I T 利活用ビジネス  
拡大事業

[事業費6,000千円]

他産業のニーズと I T 技術を融合させて、新製品、新サービスを創造できる I T イノベーション人材の育成及び I T イノベーションの普及啓発セミナーを実施

・ I T イノベーション人材育成等 6,000千円

② I T - バイオ連携  
推進事業

[事業費14,000千円]

I T 産業とバイオ産業の成長に向け、両産業の連携を図るため、セミナーやマッチング、研究・開発等への補助を実施

・セミナー、マッチング 3,281千円  
・ I T - バイオ連携促進補助金 10,719千円

③ I T 産業海外展開  
支援事業【新規】

[事業費7,500千円]

市内 I T 産業の海外展開を促進するため、ビジネスマッチングや海外ニーズに対応した製品・サービスの開発支援を実施

・ビジネスマッチング支援 2,450千円  
・ローカライズ支援 5,050千円

経済・雇用

～雇用を生み出す力強い街  
健康関連産業ビジネスモデル  
構築支援事業【新規】

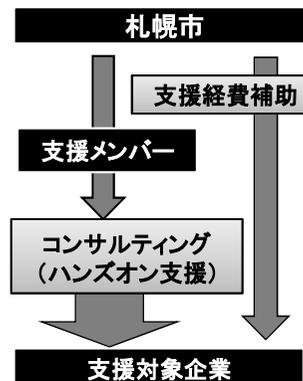
目的

本市産業振興の重点分野の一つである「健康・福祉」分野を活性化するため、安定的なビジネスモデルの構築に向けた支援を実施

事業内容

「健康」をキーワードに事業の構築・展開を目指す企業等の事業化を促進するため、専門家等による支援を実施

- ・ 専門家によるコンサルティング 4,500千円
- ・ ビジネスモデル構築補助(3件) 1,500千円



補正予算額 事業費 6,000千円  
(一般財源 6,000千円)

関連事業  
領域概要



研究機関・企業

【研究開発支援事業】(27.1定補正)  
・若手研究者補助 ・実証研究補助  
(例)果実の健康成分分析の研究経費補助

【競争力強化事業】(27.1定補正)  
・エビデンス取得支援 ・GMP、HACCP等取得支援  
(例)ヘルシーDo認定を受けるための、試験費用等を補助

企業

【ビジネスモデル構築支援事業】  
・健康関連事業のハンズオン型支援  
(例)特許取得や販促手法、法規制対応の助言等

⇕ 道経産局との連携

北海道ヘルスケア産業振興協議会での事例共有

経済・雇用

～雇用を生み出す力強い街  
中小企業金融対策資金貸付

目的

中小企業者の経営基盤の強化及び健全な発展と振興を図るため、運転資金や設備資金等の事業活動に必要な資金を供給

事業内容

創業や海外展開等を促進するため、中小企業者向け融資制度の要件を緩和し、貸付に必要な金額の一部を金融機関に預託

＜補正予算による改正点＞

- ・ 創業・雇用創出支援資金  
融資時に必要な自己資金額を【3割⇒1割】に軽減
- ・ 事業革新支援資金  
【海外展開のための運転・設備投資】を融資対象に追加
- ・ 大型設備投資支援資金  
設備投資の対象地を【市内のみ⇒市内及び札幌近郊】に拡大

主な資金

(単位：百万円)

資金名	平成27年度		
	当初予算額	補正予算額	融資枠
創業・雇用創出支援資金	4,111	300	6,395
事業革新支援資金	771	48	1,192
大型設備投資支援資金	10,057	268	14,929
札幌みらい資金	10,257		25,231
小規模事業資金	16,947		28,132
その他(産業振興資金等)	38,593		126,563
合計	80,736	616	202,442

補正予算額 事業費 616,000千円  
 (一般財源 ▲48千円)  
 (特定財源 616,048千円)  
 【諸収入； 616,048千円】

(単位：千円)

	H26当初予算	H27当初予算
事業費	80,734,700	80,736,700
(うち一般財源)	(▲12,383)	(▲11,779)

経済・雇用

～雇用を生み出す力強い街  
魅力ある商業地の創出

目的

地域コミュニティの担い手である商店街等への支援を行うことにより、地域商業の活性化を図り、魅力ある商業地を創出

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	0	12,380	54,500
	(うち一般財源)	(0)	(12,380)	(54,500)
②	事業費	0	0	5,000
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(5,000)
H27補正予算 特定財源の内訳				

① 地域商店街支援事業

[事業費54,500千円]

地域商店街が抱える地域課題を解決するため、既存の補助メニューを統合し、ファシリテーター（ワークショップ等の進行役）の派遣を含め、各商店街の特徴に応じた支援を行い、商店街や地域の魅力を向上させるとともに、にぎわいを創出

・ 商店街への補助（34件） 54,500千円

② まちなかインバウンド促進事業【新規】

[事業費5,000千円]

都心の商業施設において、外国語・免税対応等、外国人向けのサービスを強化する取組を、他の施設に波及させるためのモデル事業として実施し、外国人旅行者の消費を喚起することにより、都心商業の活性化を促進

・ 消費喚起に向けたモデル事業（1件） 5,000千円

経済・雇用

～雇用を生み出す力強い街  
大谷地流通業務団地高度化・  
効率化調査検討事業

目的

市内・道内における物流循環の活性化に向けて、広域物流拠点としての大谷地流通業務団地の高度化を検討

補正予算額 事業費 10,000千円  
(一般財源 10,000千円)

(単位：千円)

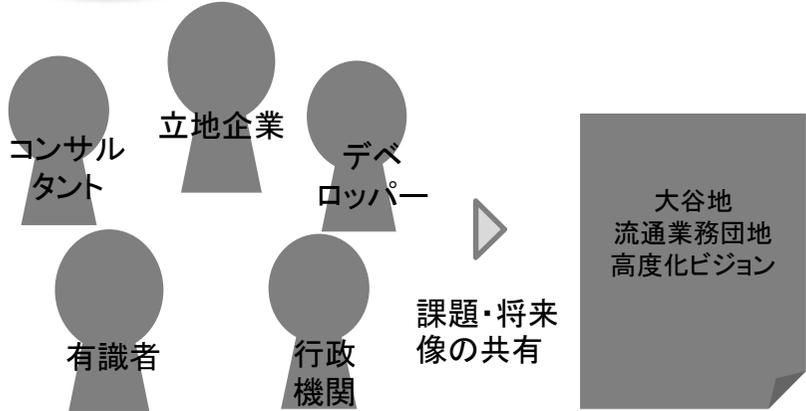
	H26当初予算	H27当初予算
事業費	5,000	0
(うち一般財源)	(5,000)	(0)

事業内容

立地企業や有識者等と連携し、老朽化した施設の建替えや都市計画のあり方の検討など、団地の高度化に向けた課題を共有し、将来に向けたビジョンを策定

- ・ 先行事例調査及びビジョン策定等 10,000千円

イメージ



経済・雇用

～雇用を生み出す力強い街  
観光イベントの魅力向上

目的

イベント来場者や地元経済界などのニーズを踏まえた取組を行い、札幌市を代表するイベントの魅力向上することによる、来場者数の増加促進及び地元経済への波及効果向上

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	103,000	90,000	95,000
	(うち一般財源)	(103,000)	(90,000)	(95,000)
②	事業費	27,830	27,830	5,000
	(うち一般財源)	(27,830)	(27,830)	(5,000)
③	事業費	0	0	50,000
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(50,000)
H27補正予算 特定財源の内訳				

① さっぽろ雪まつり  
魅力アップ事業

[事業費95,000千円]

さっぽろ雪まつりの魅力アップ・来場者数増加を図るため、プロジェクトマッピング補助・駅前通地下歩行空間PR・つど一む会場の開催期間の1週間延長を実施

- ・ プロジェクトマッピング補助 12,000千円
- ・ 駅前通地下歩行空間PR 13,000千円
- ・ つど一む会場開催期間延長 70,000千円

② さっぽろオータム  
フェスト事業

[事業費5,000千円]

さっぽろオータムフェストの会場内混雑緩和・来場者数増加を図るため、開催期間の1週間延長・会場拡大(大通公園4丁目)を実施

- ・ 開催期間延長及び会場拡大 5,000千円

③ さっぽろホワイトイルミネーション魅力アップ事業【新規】

[事業費50,000千円]

さっぽろホワイトイルミネーションの魅力アップにより来場者数の増加を図るため、公募による新規オブジェ制作・参加型イベントを実施

- ・ 新規オブジェ制作 45,521千円
- ・ デザインコンペ実施 2,639千円
- ・ バイオディーゼル燃料発電 1,000千円
- ・ LED風船イベント 840千円

経済・雇用

～雇用を生み出す力強い街  
プレミアム付旅行券事業【新規】

目的

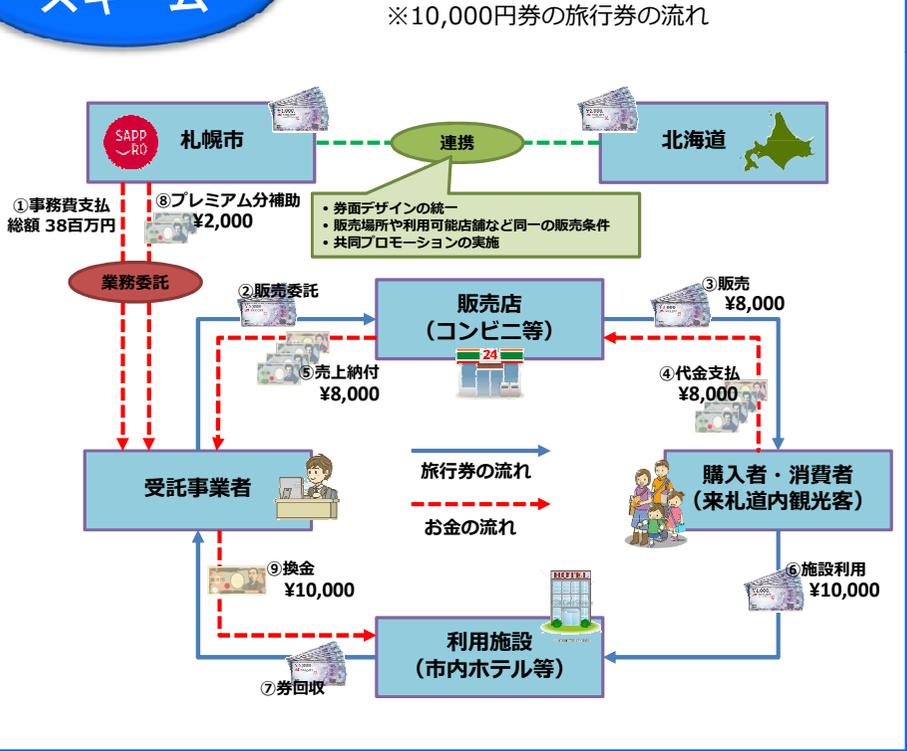
観光閑散期における道内観光客の増加及び消費喚起を目的として、道民（札幌市民を含む）が札幌市内の宿泊施設や観光施設で利用できるプレミアム付旅行券を発行

事業内容

- ・発行総額 5.5億円（10,000円券×55,000冊）
  - ・プレミアム率 20%（北海道の発行条件と同一）
  - ・販売対象 道民（札幌市民を含む）
  - ・利用施設 市内宿泊施設および市内観光施設
  - ・利用期間 H27.9.1～H28.2.29（期間中の繁忙期除く）
- ・プレミアム負担分 110,000千円
  - ・発行経費 38,000千円
- 〔 発券・販売、広報・販促経費、取扱店舗募集・登録業務、換金手数料、アンケート調査、その他事務費など 〕

補正予算額 事業費 148,000千円  
(特定財源 148,000千円)  
【国庫支出金；148,000千円】

事業スキーム



経済・  
雇用

～雇用を生み出す力強い街

## 国際観光促進・海外シティプロモート

観) 観光コンベンション部  
総) 国際部

### 目的

国や道内自治体との連携を図りながら、アジア諸国を中心とした外国人観光客誘致に向けた取組を強化し、北海道・札幌への更なる外国人観光客の増加を促進

札幌からの海外事業展開をより効果的・効率的に推進させるため、「札幌」の認知度・好感度の向上を目指したシティプロモートを推進

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	58,500	21,330	76,500
	(うち一般財源)	(58,488)	(21,312)	(76,500)
②	事業費	20,000	0	56,000
	(うち一般財源)	(20,000)	(0)	(40,000)
H27補正予算 特定財源の内訳		②国庫支出金16,000		

### ① 国際観光促進事業

[事業費 76,500千円]

外国人観光客数の増加と地域経済の活性化を目指し、国内外での各種プロモーションを実施

- ・ 中国誘致強化 12,000千円
- ・ タイ誘致強化 13,100千円
- ・ ムスリム市場誘致強化 25,500千円
- ・ 新興市場誘致強化 18,000千円
- ・ 欧米市場誘致強化 2,100千円
- ・ 航空便誘致強化 5,800千円

### ② 海外シティプロモート推進事業

[事業費 56,000千円]

「札幌」の認知度・好感度の向上を目指し、現地メディアを活用したプロモーションを実施

- ベトナムにおけるPR 36,000千円
  - ・ 現地メディアを活用したプロモーション 32,000千円
  - ・ サッポロビール連携事業 3,000千円
  - ・ 認知度調査 1,000千円
- インドネシアにおけるPR 20,000千円
  - ・ 現地メディアを活用したプロモーション 19,000千円
  - ・ 認知度調査 1,000千円

経済・雇用

～雇用を生み出す力強い街  
外国人観光客の受入環境向上

目的

外国人観光客の個人旅行者が自由に街歩きを楽しめる環境を整えることを目指し、ホームページや観光アプリのコンテンツの充実、都心部での観光サインの増設などを進め、多言語対応を強化

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	53,419	47,932	11,000
	(うち一般財源)	(51,460)	(46,213)	(11,000)
②	事業費	27,649	28,325	34,000
	(うち一般財源)	(24,428)	(25,092)	(24,000)
③	事業費	9,500	8,600	3,000
	(うち一般財源)	(9,500)	(8,600)	(3,000)
H27補正予算 特定財源の内訳		②国庫支出金10,000		

① 観光企画宣伝  
(観光HPの充実)

[事業費11,000千円]

シティPR及び観光客(特に海外有望市場)誘致促進を図るため、観光サイト「ようこそさっぽろ」の発信力をアップ

- ・観光写真ライブリ-リニューアル 5,000千円
- ・インドネシア語対応 3,000千円
- ・ｽｽﾞﾐ向け観光便利情報拡充等 3,000千円

② 観光施設運営管理  
(多言語観光サインの整備)

[事業費34,000千円]

地下歩行空間の整備などによる動線の変化を踏まえ、外国人観光客が一人で都心を回遊できるよう、多言語観光サインを新設

- ・観光サイン都心エリア重点整備(48か所) 30,000千円
- ・既存サイン一斉点検(191か所) 4,000千円

③ 札幌いんふお運営  
(観光アプリの充実)

[事業費3,000千円]

来札観光客の市内周遊のさらなる利便性向上を図るため、多言語対応の公式観光アプリ「札幌いんふお」に、翻訳機能やより充実した観光情報コンテンツを追加

- ・他アプリとの連携機能追加 1,000千円
- ・新規コンテンツ追加 2,000千円

経済・雇用

～雇用を生み出す力強い街

定山溪地区魅力アップ事業

補正予算額 事業費 21,000千円  
(一般財源 21,000千円)

目的

平成26年度に策定した「定山溪観光魅力アップ構想」に基づく、官民連携での施設の整備・改修や各種ソフト事業等の実施による定山溪の魅力向上及び誘客促進

(単位：千円)

	H26当初予算	H27当初予算
事業費	22,200	11,000
(うち一般財源)	(22,200)	(11,000)

事業内容

平成28年の開湯150周年に向けたプロモーションやイベントを実施するとともに、構想に基づく集客交流拠点基本計画及び景観ガイドラインの策定検討

- ・ 魅力づくり・PR支援 15,000千円
- ・ 基本計画策定業務等 6,000千円

目指す姿

将来像

湯めぐり、森めぐり、水めぐり、  
四季あそび一札幌定山溪

基本的な考え方

新奥座敷へ  
心安らく“温泉”× 心躍る“+α” のリゾート空間

基本的方向性

温泉街としての  
さらなる魅力向上

定山溪エリア  
としての魅力創出

経済・雇用

～雇用を生み出す力強い街  
MICE・観光客受入環境整備事業

補正予算額 事業費 40,000千円  
(一般財源 40,000千円)

目的

市内の観光スポット等において、外国人観光客のニーズが高い公衆無線LAN(Wi-Fi)環境を整備し、観光客の利便性と満足度を向上

(単位：千円)

	H26当初予算	H27当初予算
事業費	1,000	0
(うち一般財源)	(1,000)	(0)

※H27年1定補正予算額48,000千円

事業内容

今年度当初に整備予定の交通拠点や集客交流拠点に加え、近年、外国人観光客の入込が増えている観光スポット等において、利用方法等を統一したWi-Fi環境を拡大することにより、来札観光客の利便性・満足度をさらに向上

- ・チ・カ・ホ&北3条広場環境整備 5,000千円
- ・定山溪温泉エリア環境整備 18,000千円
- ・円山動物園環境整備 17,000千円

参考

【H27年1定補正での取組】  
市営地下鉄主要駅、大通公園、札幌コンベンションセンターにおいて、統一規格による「Sapporo City Wi-Fi」を整備し、市内中心部をはじめとした交通拠点やイベント・MICE等の集客交流拠点におけるWi-Fi環境を充実

経済・雇用

～雇用を生み出す力強い街  
MICE誘致の推進

目的

MICE誘致において国内外での都市間競争が激化する中、「札幌MICE総合戦略」(平成27年4月策定)に定めた受入基盤の強化に関する戦略を推進

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	0	0	5,500
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(5,500)
②	事業費	50,708	61,254	7,500
	(うち一般財源)	(50,708)	(61,254)	(7,500)
H27補正予算 特定財源の内訳				

① MICE施設整備検討事業【新規】

[事業費5,500千円]

札幌のMICE都市としての環境や基盤の強化を図り、大規模コンベンションやインセンティブツアーの誘致を促進するため、市内のMICE施設のあり方や設備、機能についての調査研究を実施

- ・ MICE施設整備検討事業費 5,500千円

② コンベンションビューロー運営費補助

[事業費7,500千円]

市内大学や首都圏の学会事務局等のMICEキーパーソンへのセールス活動や、国際会議における市場動向調査等の取組を強化するため、札幌のMICE誘致において中心的な役割を担う(公財)札幌国際プラザ・コンベンションビューローの体制強化

- ・ コンベンションビューロープロパー職員増員 7,500千円

女性・  
子ども

女性  
が輝き  
子ども  
たちが  
育つ街

## 重点政策 2

◎ : 新規  
○ : レベルアップ

P 27	◎ 産前・産後ケアの充実に向けた初妊婦訪問事業	27,820	保) 保健所
P 28	待機児童ゼロへの取組		
	○ 私立保育所整備費等補助	101,250	子) 子育て支援部
	○ 地域型保育改修等補助	20,000	子) 子育て支援部
P 29	○ 一時預かり事業(幼稚園)	32,975	子) 子育て支援部
	放課後の居場所づくりの充実関連		
	◎ 札幌市児童育成会運営委員会補助	164,378	子) 子ども育成部
P 30	○ ミニ児童会館整備	35,200	子) 子ども育成部
	◎ 札幌緑小学校区多世代交流施設整備	70,000	子) 子ども育成部
P 30	女性社員の活躍応援事業	12,700	経) 雇用推進部
P 31	子どもたちが輝く学校環境整備		
	○ 外国語指導助手(A L T)関係	41,600	教) 学校教育部
	○ 課題探究的な学習モデル研究事業	8,000	教) 学校教育部
P 32	○ 学校教育指導(学校司書)	3,100	教) 学校教育部
	いじめ・児童虐待防止		
P 32	○ スクールカウンセラー活用事業	5,120	教) 学校教育部
	○ スクールソーシャルワーカー活用事業	3,500	教) 学校教育部
P 33	特別支援教育の拡充①		
	○ 学びのサポーター活用事業	21,200	教) 学校教育部
	○ 幼児教育センター関係事業	2,007	教) 学校教育部
P 34	○ 教育センター運営管理	5,500	教) 学校教育部
	特別支援教育の拡充②		
P 34	◎ 豊成・北翔養護学校改修	80,500	教) 生涯学習部
P 35	○ 多世代交流が生まれる学校環境整備	22,800	教) 生涯学習部

女性・子ども

# ～女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街 産前・産後ケアの充実に向けた 初妊婦訪問事業【新規】

保) 保健所

## 目的

女性がより健やかに妊娠期を過ごし、安心して子どもを産み育てることができるよう、訪問事業を拡充し、産前・産後の支援を充実

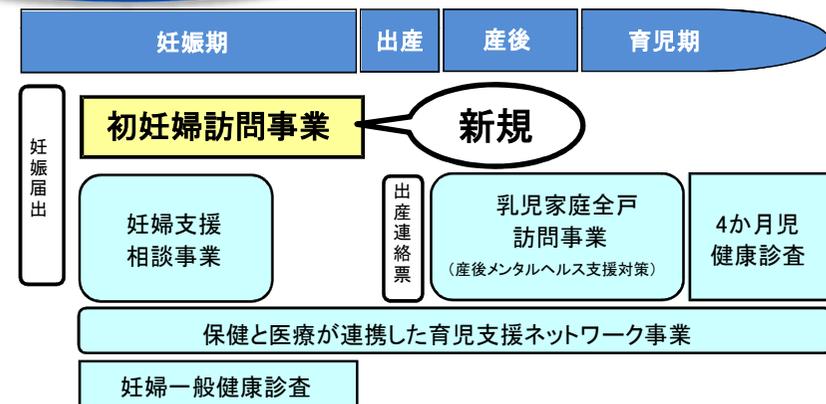
## 事業内容

初めての出産を迎える妊婦に対し、母子保健訪問指導員が家庭訪問を行い、妊娠・出産・育児に関する相談や保健指導を実施

- ・母子保健訪問指導員委託費 27,820千円  
(訪問対象妊婦数 7,926人)

補正予算額 事業費 27,820千円  
(一般財源 13,910千円)  
(特定財源 13,910千円)  
【国庫支出金; 13,910千円】

## スケジュール等



平成27年7月：母子保健訪問指導員増員研修実施

9月：初妊婦訪問事業開始

<事業の流れ>



女性・子ども

～女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街  
待機児童ゼロへの取組

子) 子育て支援部

目的

増加する保育需要に対応するため、私立認可保育所と小規模保育事業所の整備により390人分の保育の受け皿を確保するとともに、幼稚園等における一時預かり事業の対象園を拡大し、待機児童の解消を推進

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	2,017,000	1,891,591	101,250
	(うち一般財源)	(63,111)	(102,128)	(11,250)
②	事業費	0	0	20,000
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(6,670)
③	事業費	228,048	390,435	32,975
	(うち一般財源)	(151,944)	(130,145)	(10,993)
H27補正予算 特定財源の内訳		①国庫支出金90,000 ②国庫支出金13,330 ③国庫支出金10,991、道支出金10,991		

① 私立保育所整備費等補助

[事業費101,250千円]

賃貸物件を活用した私立認可保育所を整備するための補助  
賃貸物件確保を容易にするため、補助の募集基準を定員60人から40人に変更

【定員枠200人増】

・認可保育所 5か所 101,250千円

② 地域型保育改修等補助

[事業費20,000千円]

待機児童の多い0歳から2歳までの子どもを対象とする小規模保育事業所を改修するための補助

【定員枠190人増】

・小規模保育A型 10か所 20,000千円

③ 一時預かり事業 (幼稚園)

[事業費32,975千円]

認可保育所と同程度の時間帯・期間で実施する預かり保育の補助対象を、私学助成を実施する幼稚園へ拡大

・運営費補助 10か所 32,975千円

女性・子ども

～女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街  
放課後の居場所づくりの充実関連

目的

子どもが安全かつ健やかに過ごすことのできる放課後の居場所づくりとして、民間児童育成会指導員の処遇改善等を図るとともに、放課後児童クラブの定員増により過密化を解消するほか、公的な放課後の居場所がない小学校区における多世代交流施設整備に着手

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	269,511	264,204	164,378
	(うち一般財源)	(195,488)	(192,253)	(55,158)
②	事業費	161,000	0	35,200
	(うち一般財源)	(97,334)	(0)	(21,200)
③	事業費	0	0	70,000
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(18,000)
H27補正予算 特定財源の内訳		①国庫支出金54,610、道支出金54,610 ②国庫支出金7,000、道支出金7,000 ③市債52,000		

① 札幌市児童育成会  
運営委員会補助

[事業費164,378千円]

指導員の処遇改善等の補助制度を拡充させるほか、放課後児童クラブが過密化している小学校区の民間児童育成会に対する新規補助を実施  
【民間児童育成会 48か所】

・補助金 164,378千円

② ミニ児童会館整備

[事業費35,200千円]

放課後子ども館を実施している和光小学校、手稲宮丘小学校、北野平小学校にミニ児童会館を整備

・設計、工事費等 30,526千円  
・備品購入費等 4,674千円

③ 札苗緑小学校区多世代交流  
施設整備【新規】

[事業費70,000千円]

札苗緑小学校区に児童会館機能に加えて多世代交流機能を有する施設を整備

(スケジュール)  
27年度 基本設計・実施設計  
28年度 工事  
29年中 供用開始

・基本・実施設計費 22,600千円  
・用地取得費 47,400千円

女性・子ども

～女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街  
女性社員の活躍応援事業

経) 雇用推進部

目的

働き続けることを望む女性が結婚や出産・育児を機に仕事を辞めてしまうことがないよう、産前・産後に活用できる制度や、復職後の働き方等についての女性社員向けセミナーを実施するとともに、企業に対するセミナーや出前講座を実施し、女性の仕事と子育ての両立を支援

補正予算額 事業費 12,700千円  
(一般財源 12,700千円)

(単位：千円)

	H26当初予算	H27当初予算
事業費	12,700	0
(うち一般財源)	(12,700)	(0)

事業内容

女性社員  
(配偶者含む)

※9月下旬より開始

企業  
(管理職  
女性社員  
男性社員)



女性の有業率  
向上!  
※政令市20市中18番目

女性・  
子ども

～女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街  
子どもたちが輝く学校環境整備

目的

国際都市札幌の将来を担う子どもたちに、異文化への理解を深めさせ、世界で活躍する「さっぽろっ子」を育成  
また、中学校の図書室環境の整備を図るため、学校司書を追加配置

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	346,000	348,000	41,600
	(うち一般財源)	(331,427)	(333,372)	(41,600)
②	事業費	35,000	21,400	8,000
	(うち一般財源)	(34,709)	(20,027)	(5,714)
③	事業費	38,742	27,795	3,100
	(うち一般財源)	(38,733)	(27,786)	(3,100)
H27補正予算 特定財源の内訳		②国庫支出金1,680、諸収入606		

① 外国語指導助手  
(ALT)関係事業

[事業費41,600千円]

グローバル化に対応した英語教育を推進し、週1回ALTを活用した授業ができる中学校を増やすため、ALT関係事業を拡充

・ALT増員(15人) 41,600千円

② 課題探求的な学習  
モデル研究事業

[事業費8,000千円]

グローバル人材を育成する学習モデルを研究する市立開成中等教育学校の英語による教科指導のため、外国人講師を配置

・講師報酬等(3人) 8,000千円

③ 学校教育指導  
(学校司書)

[事業費3,100千円]

学校司書を試行配置している中央区の中学校1校に加え、9校に追加配置し、全区に司書を配置

・司書謝礼(9校) 3,100千円

女性・子ども

～女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街  
いじめ・児童虐待防止

目的

いじめの問題や、児童虐待、子どもの貧困等、児童生徒を取り巻く様々な問題の解決及び未然防止を図るため、臨床心理や社会福祉・精神保健福祉の専門家を派遣し、各学校における教育相談を充実

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	211,443	211,422	5,120
	(うち一般財源)	(141,517)	(141,496)	(3,414)
②	事業費	8,328	8,327	3,500
	(うち一般財源)	(5,552)	(5,551)	(2,334)
H27補正予算 特定財源の内訳		①国庫支出金1,706 ②国庫支出金1,166		

① スクールカウンセラー活用事業

[事業費5,120千円]

不登校やいじめなど生徒指導上の課題に対応し、学校の教育相談体制の更なる充実を図るため、スクールカウンセラーの配置を拡充

- ・ 小学校時間増(年54時間→57時間/校) 2,270千円
- ・ 大規模中学校時間増(年280時間→330時間/校) 750千円
- ・ 開成中等教育学校への配置(新規配置→年280時間) 1,050千円
- ・ 特別支援学校への配置(追加配置→年280時間) 1,050千円

② スクールソーシャルワーカー活用事業

[事業費3,500千円]

複雑化する児童生徒の諸問題に対応するため、スクールソーシャルワーカーに指導助言を行うスーパーバイザーを新たに1名配置

- ・ スーパーバイザー配置(1人)等 3,500千円

女性・子ども

～女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街  
特別支援教育の拡充①

目的

発達に課題のある子どもの自立と社会参加を目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行い、将来の基盤となる「生きる力」を育成

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	114,366	112,859	21,200
	(うち一般財源)	(114,366)	(112,859)	(21,200)
②	事業費	43,988	59,299	2,007
	(うち一般財源)	(21,405)	(34,434)	(1,999)
③	事業費	76,321	77,925	5,500
	(うち一般財源)	(75,052)	(76,740)	(5,482)
H27補正予算 特定財源の内訳		② 諸収入8 ③ 諸収入18		

① 学びのサポーター活用事業

[事業費21,200千円]

通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、学びのサポーターの活用時間を拡充

- ・小中学校への配置時間増 10,910千円
- ・市立高校への配置 312千円
- ・介助アシスタントの新設等 9,978千円

② 幼児教育センター関係事業

[事業費2,007千円]

相談件数が増加している、発達や就学に関する幼児教育相談に対応するため、非常勤職員1名を増員

- ・幼児教育研究員(1人) 2,007千円

③ 教育センター運営管理

[事業費5,500千円]

相談件数が増加している、特別支援教育に関する教育相談に対応するため、非常勤職員2名を増員

- ・教育研究員(2人) 5,500千円

女性・  
子ども

～女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街  
特別支援教育の拡充②

目的

発達に課題のある子どもの自立と社会参加を目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行い、将来の基盤となる「生きる力」を育成

補正予算額 事業費 80,500千円  
 (一般財源 26,500千円)  
 (特定財源 54,000千円)  
 【市債; 54,000千円】

豊成・北翔養護学校改修【新規】

[事業費80,500千円]

豊成養護学校及び北翔養護学校を小・中学部併設校にするため、プール等の改修や必要な備品の整備を実施

・施設改修費等 80,500千円

効果

豊成(小学部)と北翔(中学部・高等部)は、重度の肢体不自由と重複障がいのある児童生徒が入学対象  
 市全域が通学区域であることから、遠距離通学に伴う身体的負担の軽減が課題  
 豊成・北翔にそれぞれ小・中学部を併設することにより、通学距離が短縮化され、通学しやすい教育環境づくりを実現

スケジュール



女性・  
子ども

～女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街  
多世代交流が生まれる学校環境整備

目的

学校規模適正化の検討地域となっている石山地区において、児童会館や地域施設との複合化も含め、統合校に必要な施設整備を検討

事業内容

石山地区の統合校に関する校舎配置や平面計画等の基本設計を実施

●校舎約5,900㎡ ●児童会館300㎡ ●地域施設450㎡

- ・ 工事基本設計 16,501千円
- ・ アスベスト調査費 359千円
- ・ 校地現況調査費 2,333千円
- ・ 埋文調査費等 3,607千円

想定スケジュール

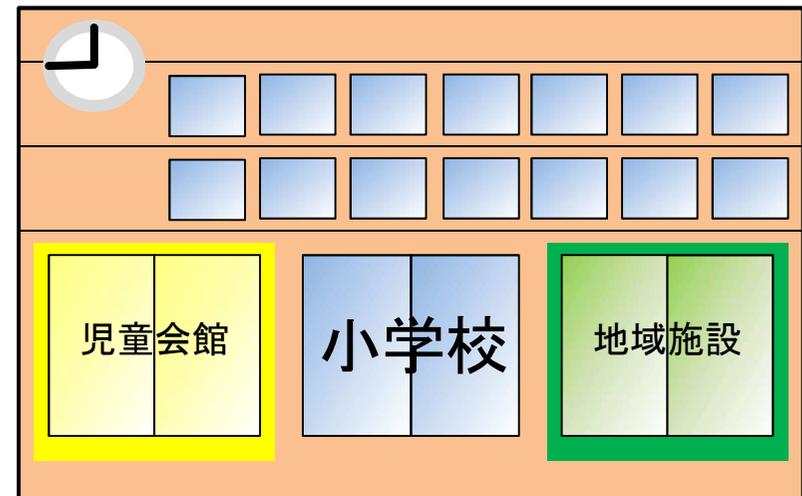
平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
基本設計	実施設計	工事	供用開始

補正予算額 事業費 22,800千円  
(一般財源 22,800千円)

(単位：千円)

	H26当初予算	H27当初予算
事業費	52,000	90,800
(うち一般財源)	(52,000)	(90,800)

～新しい統合校のイメージ～



福祉・  
医療

## 重点政策 3

◎ : 新規  
○ : レベルアップ

いつまでも安心して暮らせる街

P37	◎ 子どもの心の診療ネットワーク事業	7,900	保) 障がい保健福祉部
障がい者の相談支援、就労の推進			
P38	○ 障がい者相談支援事業	16,000	保) 障がい保健福祉部
	○ 障がい者就業・生活相談支援事業	13,000	保) 障がい保健福祉部
	○ 障がい者協働事業運営費補助	9,300	保) 障がい保健福祉部
P39	○ 重度身体障がい者入浴サービス事業	35,700	保) 障がい保健福祉部
P40	○ 地域ぬくもりサポート事業	5,800	保) 障がい保健福祉部
P41	◎ 高齢者等の在宅医療ネットワーク推進事業	20,800	保) 保健所
P42	○ 感染症予防（高齢者予防接種の周知強化）	73,438	保) 保健所
P43	○ 歯周疾患検診	29,888	保) 保健所

# 福祉・医療

～いつまでも安心して暮らせる街

子どもの心の診療ネットワーク事業【新規】

保) 障がい保健福祉部

## 目的

児童精神科医療を中心とした医療、福祉、保健、教育機関の連携体制の構築を図り、心に悩みを抱える子どもや発達障がい児が、より適切な支援を速やかに受けられる環境を整備

## 事業内容

連携体制を構築・運用するため、連携体制等の全体管理、人材育成等を行う「さっぽろ子どものこころの連携チーム事業」と適切な支援機関に案内を行う「さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業」を実施

- ・ さっぽろ子どものこころの連携チーム事業 1,150千円
- ・ さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業 6,750千円

合計 7,900千円

補正予算額 事業費 7,900千円  
(一般財源 7,900千円)

## 実施イメージ

平成27年10月(予定)  
事業開始

連携チーム事業(北海道大学に委託)  
連携体制の全体管理・医学的支援  
人材育成等を行う

児童精神を扱う医療機関

適切な医療機関を案内(コンシェルジュ) 治療後に他の機能での支援が必要な患者

コンシェルジュ事業実施機関

子ども心身医療センター・民間医療機関5か所

児童精神科医療が必要な患者

適切な福祉施設等を案内(コンシェルジュ)

福祉施設、教育機関、保健センター、一般の小児科等

福祉・医療

～いつまでも安心して暮らせる街

障がい者の相談支援、就労の推進

保) 障がい保健福祉部

目的

障がい者が地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、地域生活の支援充実、雇用や職場定着促進のための相談支援充実、障がい者の就労の場拡大のための取組を実施

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	308,071	316,182	16,000
	(うち一般財源)	(308,071)	(316,182)	(16,000)
②	事業費	63,181	65,098	13,000
	(うち一般財源)	(63,181)	(65,098)	(13,000)
③	事業費	146,965	159,625	9,300
	(うち一般財源)	(146,965)	(159,625)	(9,300)
H27補正予算 特定財源の内訳				

① 障がい者相談支援事業

[事業費16,000千円]

相談件数の増加と複雑化する相談内容に対応するため、相談員の増員、専門的知識を有する人材確保の取組を実施

- ・ 相談員の増員（5か所、1人増）等  
9,642千円
- ・ 専門性の高い相談員の確保  
6,358千円

② 障がい者就業・生活相談支援事業

[事業費13,000千円]

相談件数の増加に対応するため、相談員やジョブサポーターを増員し、相談者の雇用と職場定着を促進

- ・ 相談員の増員等  
(4か所、2.5→3.5人工) 9,471千円
- ・ ジョブサポーターの増員  
(4人→6人) 3,529千円

③ 障がい者協働事業  
運営費補助

[事業費9,300千円]

継続した障がい者雇用の場を確保するため、新たに2か所の事業所に対し運営費補助を実施（現在20事業所）

- ・ 新規2か所（10月開設、10人雇用）  
9,300千円

# 福祉・医療

～いつまでも安心して暮らせる街

## 重度身体障がい者入浴サービス事業

保) 障がい保健福祉部

### 目的

入浴の機会提供の上限回数増加による、入浴の困難な在宅重度身体障がい者の健康の保持と保健衛生の向上

### 事業内容

移動入浴車の自宅への派遣又は入浴施設の利用により提供する入浴の上限回数を、現行の月4回から最大週2回に増加（通年実施の場合、年間48回から104回）  
平成27年8月から実施

【予算額】	27年度当初	回数増加後 (8月～3月の8か月分)
	42,653千円	→ 78,353千円

補正予算額 事業費 35,700千円  
(一般財源 35,700千円)

(単位：千円)

	H26当初予算	H27当初予算
事業費	42,426	42,653
(うち一般財源)	(42,426)	(42,653)

### スケジュール

平成27年8月から実施  
7月中に利用者へ周知し、サービス利用券を送付



充実により、入浴の機会が増加し、利用者の皮膚の清潔の保持や血液循環の促進等の効果が期待でき、皮膚疾患の予防や床ずれ防止が図られる。

福祉・医療

～いつまでも安心して暮らせる街  
地域ぬくもりサポート事業

保) 障がい保健福祉部

目的

障がいのある方に対する理解促進を図り、自立生活を地域全体で支えていくため、地域住民による有償ボランティア活動を推進する仕組みを整備

事業内容

障がいのある方と地域住民（サポーター）とのマッチングや研修等を行う管理機関（サポートセンター）の運営管理を委託により実施  
※現在、中央区・南区でモデル的に実施しており、平成27年10月から全市に拡大

- ・サポートセンター委託料等 5,800千円  
※現行センター機能強化+2か所新設

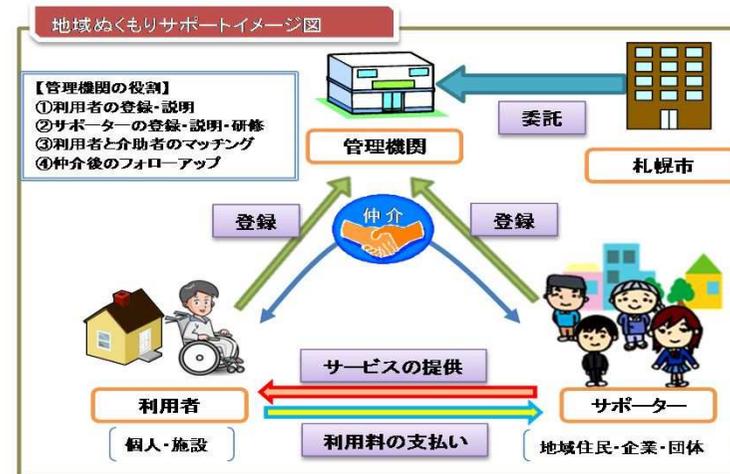
補正予算額 事業費 5,800千円  
(一般財源 5,800千円)

(単位：千円)

	H26当初予算	H27当初予算
事業費	6,465	5,023
(うち一般財源)	(6,465)	(5,023)

スケジュール

- ・平成27年8月：全市拡大準備（現行センター機能強化）
- ・平成27年10月：全市拡大（センター2か所新設）



福祉・医療

～いつまでも安心して暮らせる街  
高齢者等の在宅医療  
ネットワーク推進事業【新規】

保) 保健所

目的

住み慣れた地域で療養を望む高齢者等が「もれ」や「きれめ」なく医療サービスを受けられるよう在宅医療体制を構築  
限られた医療資源の適正利用を図るため、かかりつけ医や在宅医療の普及啓発を実施

補正予算額 事業費 20,800千円  
(特定財源 20,800千円)  
【道支出金; 20,800千円】

事業内容

札幌市まちづくり戦略ビジョンやさっぽろ医療計画に基づき、会議体を設置して、在宅医療を担う人材の育成や市民等への普及啓発を実施

- ・ 会議体の設置 2,976千円  
(本会議2回、専門部会各2回)
- ・ 在宅医療従事者の人材育成 7,761千円  
(医師向け研修、看護師向け研修等)
- ・ 普及啓発 10,063千円  
(シンポジウムの実施、啓発品の作成等)

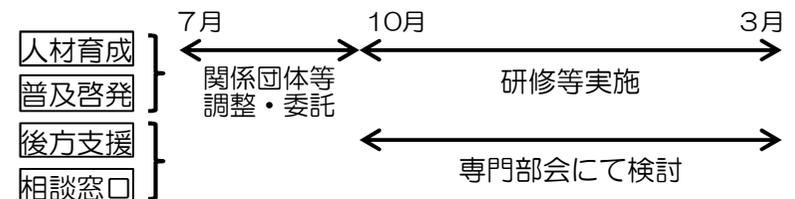
スケジュール等

○推進体制

在宅医療推進会議

専門部会

○事業実施スケジュール



## 福祉・医療

～いつまでも安心して暮らせる街  
感染症予防  
(高齢者予防接種の周知強化)

保) 保健所

### 目的

予防接種法第5条に基づいて行う高齢者用肺炎球菌ワクチンの接種について、接種機会の確保を目的として、対象年齢の市民に対する周知を強化

### 事業内容

平成26年10月から開始となった高齢者用肺炎球菌ワクチンの定期接種について、対象年齢等が難解であることから、接種対象となる市民(104,351人)に対して個別通知を実施

- ・ 個別通知送付費等 9,946千円
  - ・ ワクチン接種費用の増 63,492千円
- ※個別通知による接種者数の増加見込分

補正予算額 事業費 73,438千円  
(一般財源 73,438千円)

(単位：千円)

	H26当初予算	H27当初予算
事業費	2,902,124	3,311,978
(うち一般財源)	(2,670,057)	(3,051,859)

### スケジュール

- 平成27年8月～9月頃
    - ・ 接種対象者への個別通知の送付
- 【対象者：104,351人】
- 平成27年4月2日から平成28年4月1日に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる市民
- ※個別通知送付にあわせて広報さっぽろや報道機関への情報提供等での周知を予定

目的

歯を失う原因の第1位である歯周病の早期発見・早期治療のために、歯周疾患検診を実施し、生涯自分の歯を保つ8020運動を推進

事業内容

歯周疾患検診受診率向上のために検診対象者(107,351人)へ受診券の個別送付を実施

- ・ 受診券の送付：検診対象者（40歳、50歳、60歳、70歳）に対し受診券を個別送付
- ・ 歯周疾患検診：問診・口腔診査・保健指導
  - ・ 受診券送付費等 10,879千円
  - ・ 検診委託料 19,009千円

補正予算額 事業費 29,888千円  
 (一般財源 22,130千円)  
 (特定財源 7,758千円)  
 【国庫支出金；7,758千円】

(単位：千円)

	H26当初予算	H27当初予算
事業費	6,296	6,958
(うち一般財源)	(4,825)	(5,440)

スケジュール

- 平成27年7月～9月 対象者の抽出  
受診券印刷等の発送準備
- 平成27年10月 1回目受診券送付  
(27年度4～11月までの対象者)
- 平成27年11月～ 対象年齢到達1か月前に毎月  
受診券送付

都市・  
環境

# 重点政策 4

◎ : 新規  
○ : レベルアップ

魅力と活力にあふれた  
暮らしやすい街

P45	災害に強い都市づくりの推進①		P54	冬季オリンピック・パラリンピック招致		
	○ 避難場所環境整備	80,100 危) 危機管理対策部		冬季オリンピック・パラリンピック招致	10,000 観) スポーツ部	
	◎ 市災害対策本部訓練	10,200 危) 危機管理対策部		◎ 地域スポーツコミッション設立準備	8,000 観) スポーツ部	
P46	災害に強い都市づくりの推進②		P55	国際スポーツイベント開催の推進		
	◎ 異常気象による水害及び土砂災害対策事業	41,800 消) 総務部		◎ ラグビーワールドカップ2019大会開催準備	118,000 観) スポーツ部	
	◎ 消防団充実強化事業	54,300 消) 総務部	◎ FISスノーボードワールドカップ2016 札幌大会補助	29,000 観) スポーツ部		
P47	町内会活動の総合的な支援		P56	北4東6周辺地区関連		
	○ 町内会活動総合支援事業	10,000 市) 地域振興部		北4東6周辺地区再開発事業	1,336,000 都) 市街地整備部	
	◎ 町内会加入促進に向けた調査検討事業	2,940 市) 地域振興部	中央体育館改築事業	1,330,000 観) スポーツ部		
P48	◎ コンビニ交付システム構築等事業	104,500 市) 地域振興部	雪対策の推進			
P49	札幌駅交流拠点まちづくり関連		P57	○ 冬のみちづくりプラン推進		55,000 建) 土木部
	札幌駅交流拠点事業化検討	5,162 市) 都市計画部		○ 交差点排雪の強化		740,000 建) 土木部
	◎ 札幌駅前通公共地下歩道及び地下鉄さっぽろ駅東豊線連絡通路改修	79,638 市) 都市計画部 5,500 市) 市民生活部		労務単価等上昇分		400,000 建) 土木部
P50	都心エネルギー施策の検討・推進関連		P58	拠点のまちづくりの推進		
	都心エネルギー施策検討	12,000 市) 都市計画部		新さっぽろ駅周辺地区まちづくり推進事業		69,500 都) 市街地整備部
	◎ 都心エネルギーネットワーク推進事業	9,362 市) 都市計画部		篠路駅周辺地区まちづくり推進事業		12,000 都) 市街地整備部 82,000 建) 土木部
P51	◎ 都心アクセス道路検討調査	5,000 市) 総合交通計画部	市街地再開発事業の推進			
P52	市民とすすめるごみの減量・リサイクルの推進		P59	北8西1地区再開発事業		997,000 都) 市街地整備部
	○ 資源回収実施団体奨励	30,000 環) 環境事業部		南2西3南西地区再開発事業		380,000 都) 市街地整備部
	○ リサイクル事業推進	7,900 環) 環境事業部		北3東11周辺地区再開発事業		388,000 都) 市街地整備部
P53	水素エネルギーの普及促進					
	○ 次世代自動車導入促進事業	5,000 環) 環境都市推進部				
	◎ 燃料電池活用事業	15,000 環) 環境都市推進部				

都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
災害に強い都市づくりの推進①

目的

厳冬期における地震などの大規模災害に備えた避難場所環境の整備による災害に強い都市づくりの推進と、定期的・実戦的な市災害対策本部訓練の実施による市役所全体の防災・危機管理能力の向上

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	109,000	79,300	80,100
	(うち一般財源)	(109,000)	(79,300)	(78,100)
②	事業費	0	0	10,200
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(10,200)
H27補正予算 特定財源の内訳		①市債2,000		

① 避難場所環境整備

[事業費80,100千円]

札幌市まちづくり戦略ビジョンにおける「災害に備えた地域防災体制づくり」を推進するため、応急救援備蓄物資の増強・備蓄物資配置場所の整備を実施

- ・ 非常食増強 5,920千円  
33,250食を整備
- ・ 高規格型寝袋への更新 71,689千円  
9,440個を更新
- ・ 防災拠点倉庫の整備 2,491千円  
旧豊水小学校体育館耐震化の設計

② 市災害対策本部訓練【新規】

[事業費10,200千円]

平成26年9月11日に発生した豪雨への対応・経験も踏まえ、大規模な自然災害への対応力の向上を図るため、細かな状況を事前に周知しない実戦的なブラインド方式の災害対応訓練を実施

- ・ 訓練運営支援 10,200千円  
「訓練シナリオ」及び「状況付与計画」の作成、訓練の評価、検証等

都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
災害に強い都市づくりの推進②【新規】

消) 総務部

目的

ゲリラ豪雨等の異常気象災害に備えた初動体制の迅速化を図るとともに、大規模災害等に備えた消防団の活動体制の強化により、災害に強い都市づくりを推進

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	0	0	41,800
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(41,800)
②	事業費	0	0	54,300
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(7,300)
H27補正予算 特定財源の内訳		②市債47,000		

① 異常気象による水害  
及び土砂災害対策事業

[事業費41,800千円]

札幌市まちづくり戦略ビジョンにおける「迅速な災害対策を行う体制の強化」を推進するため、すべての消防署・出張所に水防資機材を配備

- ・ 隊員装備の配備 33,097千円
- ・ 救助者用救命胴衣・胴付長靴など 8,703千円
- ・ 災害対応資機材の配備
- ・ ゲル土のう・要救助者用救命胴衣など

② 消防団充実強化事業

[事業費54,300千円]

地域防災力を充実強化するため、消防団の双方向情報伝達網を構築するとともに大規模災害に対応した教育訓練を実施

- ・ デジタル簡易無線整備 25,264千円
- ・ 消防団指揮本部、分団、災害現場間での確実な情報伝達を実現
- ・ トランシーバー整備 21,736千円
- ・ 災害現場の消防団員間の確実な情報伝達を実現
- ・ 災害対応訓練の実施 7,300千円
- ・ 大規模災害を想定した消防団の教育訓練

都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
町内会活動の総合的な支援

目的

快適な生活環境の確保、地域社会における安全及び安心の推進など、地域活動の中核を担う町内会活動をより活性化させるため、町内会活動を総合的に支援

① 町内会活動総合支援事業

[事業費10,000千円]

町内会活動を多面的かつ継続的に支援するため、区域を越えた町内会の交流や情報交換、専門知識を得るための研修会等を実施し、町内会活動の活性化を支援

- ・ 町内会シンポジウム等開催 2,484千円
- ・ 町内会活動のヒント等実践講座支援 5,476千円
- ・ 町内会担い手育成セミナー等開催 2,040千円

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	30,000	30,000	10,000
	(うち一般財源)	(30,000)	(30,000)	(10,000)
②	事業費	0	0	2,940
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(2,940)
H27補正予算 特定財源の内訳				

② 町内会加入促進に向けた調査検討事業  
【新規】

[事業費2,940千円]

今後の町内会支援や町内会への加入促進に向け、他都市の事例の調査や、有識者・町内会役員等による検討委員会を設置し、条例等法的整備も視野に入れた支援策を検討

- ・ 検討委員会等の開催 2,690千円
- ・ 他都市事例調査 250千円

都市・  
環境

コンビニ交付システム構築等事業【新規】

目的

市民サービスの利便性向上のため、個人番号カード（平成28年1月から交付開始）を使って、市内に数多くあるコンビニエンスストアの端末で、住民票等の発行サービスを実現

補正予算額 事業費 104,500千円  
（一般財源 104,500千円）

サービス内容  
（予定）

交付予定の証明書	住民票、印鑑証明書 等
交付可能店舗数	市内約 1,000 店舗(市外でも取得可) (平成 27 年 4 月 1 日現在サービス提供事業者:セブン-イレブン、ローソン、 サークルKサンクス、ファミリーマート、セイコーマート等) 夜間及び休日を含む運用を予定

※平成28年1月から希望者に対し、個人番号カードの交付開始  
※平成28年度中のサービス開始を予定

事業内容

平成27年度から平成28年度にかけて、証明発行サーバの構築及び既存システムの改修を行うとともに、利用促進のための事前広報を実施

- ・サーバの構築及びシステム改修 101,752千円
- ・利用促進のための事前広報等 2,748千円

都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街

札幌駅交流拠点まちづくり関連

市) 都市計画部  
市) 市民生活部

目的

北海道新幹線の札幌延伸を見据え、国内外からの来客を迎える札幌駅周辺の魅力を高めるため、道内とのアクセスの拠点となる札幌駅交流拠点の基本的な整備のあり方を定めるとともに、北5西1街区及び北5西2街区の整備に向けた検討や地下鉄さっぽろ駅などの改修を実施

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	5,400	0	5,162
	(うち一般財源)	(5,400)	(0)	(5,162)
②	事業費	0	0	79,638
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(5,088)
③	事業費	0	0	5,500
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(5,500)
H27補正予算 特定財源の内訳		②国庫支出金39,550、市債35,000		

① 札幌駅交流拠点事業化検討

[事業費 5,162千円]

主要街区である北5西1街区及び北5西2街区の一体的な整備による土地の高度利用や交通結節機能の向上等を目的として、先導街区整備基本構想を策定するとともに、その事業化に向けた検討に着手

・ 事業化検討業務等 5,162千円

札幌駅前通公共地下歩道及び  
地下鉄さっぽろ駅東豊線連絡通路改修【新規】

[事業費 85,138千円]

地下ネットワークの充実強化・新たなにぎわいや回遊性の創出のため、東豊線連絡通路の柵撤去・札幌駅前通公共地下歩道(地下鉄南北線さっぽろ駅部)改修のほか、アイヌ文化を感じられる空間を整備  
(平成29年11月供用開始予定)

② 実施設計等 21,318千円  
柵撤去に伴う改札システム等改修 58,320千円  
③ アイヌ文化空間整備検討費 5,500千円

都市・環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
都心エネルギー施策の  
検討・推進関連

目的

災害に強いまちづくりや「環境首都さっぽろ」にふさわしい低炭素社会の実現を目指し、都心において効率的なエネルギーネットワークの構築を推進

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	14,000	0	12,000
	(うち一般財源)	(14,000)	(0)	(12,000)
②	事業費	0	0	9,362
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(9,362)
H27補正予算 特定財源の内訳				

① 都心エネルギー施策検討

[事業費12,000千円]

平成25年度から検討してきた都心エネルギー施策の策定と、これに基づく具体的な事業を進めるための検討

・都心エネルギー施策検討等 12,000千円

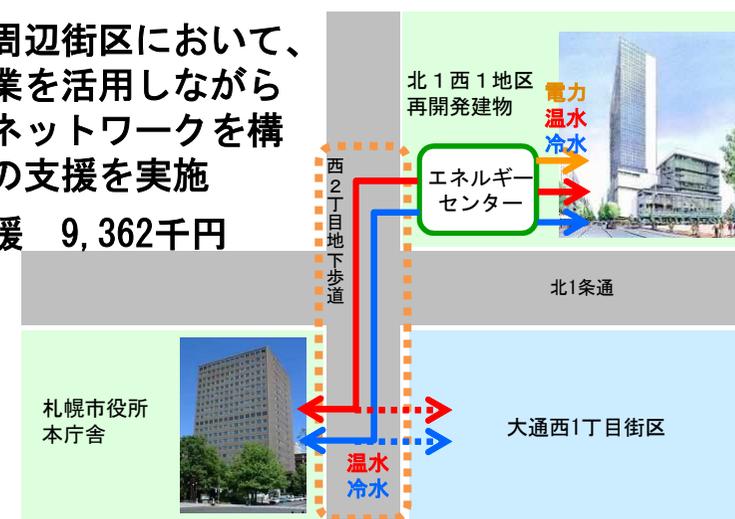


② 都心エネルギーネットワーク推進事業【新規】

[27～29年度 総事業費約19億円、総支援額約1.9億円]

北1西1周辺街区において、国の補助事業を活用しながらエネルギーネットワークを構築するための支援を実施

・27年度支援 9,362千円



都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街

都心アクセス道路検討調査【新規】

目的

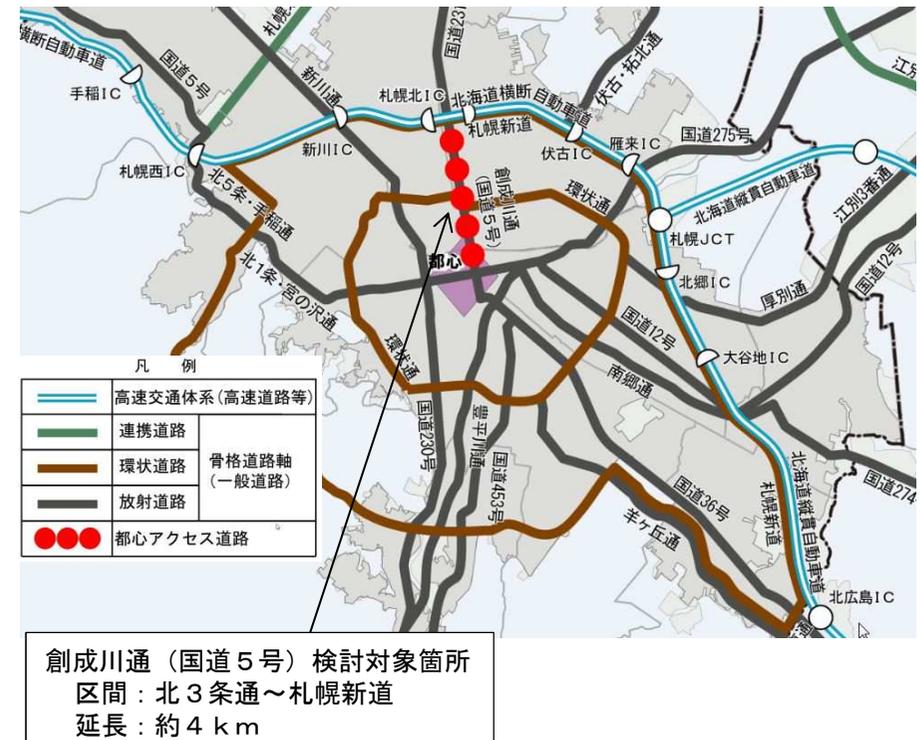
都心部と高速道路を結ぶ創成川通（国道5号）のアクセス機能を強化することにより、新幹線札幌延伸と連携した広域的な交通ネットワークの形成が図られ、市内及び道内の観光振興や物流機能等の強化を図るとともに、沿道地域のまちづくりや交流活性化に貢献

事業内容

創成川通の機能強化の実現に向けて、現状の課題や交通量等を分析するとともに、交通面のほかまちづくりの観点など様々な角度から整備効果の検証を実施

- ・ 創成川通機能強化検討調査 5,000千円

補正予算額 事業費 5,000千円  
(一般財源 5,000千円)



都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
市民とすすめるごみの減量・  
リサイクルの推進

目的

環境低負荷型資源循環社会を目指し、家庭から  
ごみとして排出されている古紙や古着の減量・リ  
サイクルに、市民・事業者が自主的に取り組む環  
境づくりを推進

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	244,920	243,341	30,000
	(うち一般財源)	(244,920)	(243,341)	(30,000)
②	事業費	39,493	39,467	7,900
	(うち一般財源)	(29,580)	(29,489)	(7,725)
H27補正予算 特定財源の内訳		② 諸収入175		

① 資源回収実施団体奨励

[事業費30,000千円]

新聞、雑誌、ダンボールやビン、金属類等の更なる  
資源化に向け、集団資源回収の回収量が増加した実施  
団体に対して奨励金のインセンティブを付与する制度  
を開始

- ・ 奨励金のインセンティブ付与 28,520千円
- ・ システム改修費 1,156千円
- ・ 周知用ポスターの作成等 324千円

② リサイクル事業推進

[事業費7,900千円]

クリーニング協同組合と連携し、市民に身近で利便  
性が高いクリーニング店を古着の回収拠点とすること  
で、古着のリユースを促進

- ・ 回収ボックスの購入 5,100千円
- ・ 普及啓発 2,800千円

都市・環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
水素エネルギーの普及促進

目的

低炭素社会の実現を目指して、札幌市温暖化対策推進計画に基づき、燃料電池自動車の普及など、水素エネルギーに着目した取組を推進

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	60,059	36,246	5,000
	(うち一般財源)	(23,416)	(12,426)	(5,000)
②	事業費	0	0	15,000
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(2,000)
H27補正予算 特定財源の内訳		②市債13,000		

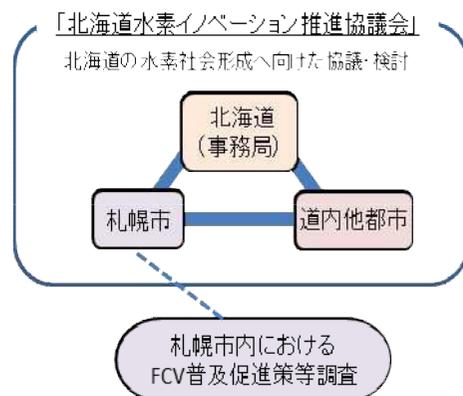
※①H27年1定補正予算額49,000千円

① 次世代自動車導入促進事業

[事業費5,000千円]

燃料電池自動車（FCV）の普及に向けて、北海道及び道内他都市と連携し、FCV導入や水素供給の可能性、普及支援策などの調査や検討を実施

・基礎調査検討費 5,000千円



② 燃料電池活用事業【新規】

[事業費15,000千円]

水素を活用した分散電源の普及に向け、市民への普及啓発を目的とし、次世代エネルギーパークである円山動物園に燃料電池(エネファーム)を導入

・工事費 11,358千円  
・設計費等 3,642千円



都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
冬季オリンピック・パラリンピック招致

目的

冬季オリンピック・パラリンピックの招致推進に向けた、市民への情報提供・各種PRの実施及びスポーツイベント誘致を戦略的に行う札幌版「地域スポーツコミッション」の設立準備

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	0	0	10,000
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(10,000)
②	事業費	0	0	8,000
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(8,000)
H27補正予算 特定財源の内訳				

※①H27年1定補正予算額136,000千円

① 冬季オリンピック・パラリンピック招致

[事業費10,000千円]

冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向け、招致気運の醸成を図るため、市民への情報提供、関係団体との連携、広報活動を展開

- ・PRイベント等の実施及びPR動画・パンフレット等作成  
10,000千円

② 地域スポーツコミッション設立準備【新規】

[事業費8,000千円]

近年の海外・他都市先行事例調査など、地域スポーツコミッション設立に向けた準備及び、2020年東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプ誘致に向けた取組

- ・地域スポーツコミッション設立準備 6,000千円
- ・事前キャンプ誘致に向けた施設適合調査等 2,000千円

都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
国際スポーツイベント開催の推進【新規】

目的

市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツ振興を促進するため、世界トップレベルのスポーツ大会にふれる機会を提供  
国際スポーツイベントを通じて国内外へ札幌の魅力をPR

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	0	0	118,000
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(118,000)
②	事業費	0	0	29,000
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(29,000)
H27補正予算 特定財源の内訳				

① ラグビーワールドカップ2019大会開催準備

[事業費118,000千円]

ラグビーワールドカップ2019の札幌開催に向けた準備

- ・ 開催都市分担金 100,000千円
- ・ 2015イングランド大会におけるPR等 13,150千円
- ・ 気運醸成費等 4,850千円

【大会開催概要】

- ・ 4年に一度開催されるラグビー界最大のスポーツイベントであり、2019年日本大会は、札幌市を含め全国12都市での開催
- ・ 開催時期は、2019年(平成31年)9～10月、札幌市では札幌ドームでの開催を予定

② FISスノーボードワールドカップ  
2016札幌大会補助

[事業費29,000千円]

FISスノーボードワールドカップ2016札幌大会組織委員会に対する補助

- ・ 補助金 29,000千円

【大会開催概要】

- ・ 国際スキー連盟(FIS)が主催する、オリンピック、世界選手権と並ぶ競技レベルの大会
- ・ 札幌大会実施種目は「ハーフパイプ」
- ・ 平成28年2月13日(女子)14日(男子)、札幌ばんけいスキー場内ハーフパイプコースにおいて開催

# 都市・環境

## ～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街 北4東6周辺地区関連

都) 市街地整備部  
観) スポーツ部

### 目的

民間投資を最大限に活用しながら、創成東地区にふさわしい土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、北4東6周辺地区において再開発事業を推進  
あわせて、老朽化している中央体育館を当地区に移転改築

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	91,000	0	1,336,000
	(うち一般財源)	(45,500)	(0)	(115,000)
②	事業費	7,850	89,000	1,330,000
	(うち一般財源)	(2,850)	(23,000)	(333,000)
H27補正予算 特定財源の内訳		①国庫支出金668,000、市債553,000 ②市債997,000		

### ① 北4東6周辺地区再開発事業

[総事業費 約300億円 総補助額 約45億円] [27年度事業費1,336,000千円]

民間再開発事業の施行者に対し、調査設計計画費及び土地整備費の一部を補助

#### <計画内容>

地区面積：約4.1ha

延床面積：約84,000㎡

用途：体育館、共同住宅(260戸)、商業、医療・福祉等

#### <スケジュール>

平成27年度：実施設計等

平成28～30年度：1期工事（体育館、共同住宅等）

平成30～32年度：2期工事（医療・福祉等）



### ② 中央体育館改築事業

[総事業費 約100億円] [27年度事業費1,330,000千円]

市民のスポーツ活動を支える中核施設として改築する中央体育館について、用地取得費を再開発組合へ負担金として支出

#### <計画内容>

敷地面積：約13,700㎡

延床面積：約19,140㎡

（体育館 約14,300㎡）

（駐車場等 約4,840㎡）

構造：RC造 地上3階建



都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
雪対策の推進

目的

限られた予算、事業者の人員体制や資機材等の中で、社会情勢の変化に対応した市民満足度の高い雪対策を推進するため、見直しや工夫、新規の取組を含め除排雪方法の検証を行い、市民や企業、関係機関などと協働による持続可能な除雪体制を推進

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	9,260	0	55,000
	(うち一般財源)	(9,260)	(0)	(55,000)
②	事業費	4,334,634	4,587,252	740,000
	(うち一般財源)	(3,517,634)	(3,770,252)	(740,000)
③	事業費	0	0	400,000
	(うち一般財源)	(0)	(0)	(400,000)
H27補正予算 特定財源の内訳		※③は労務単価等上昇に対応するもの		

① 冬のみちづくり  
プラン推進

[事業費55,000千円]

現状の除雪体制の効果や課題の検証、地域除雪強化に向けた小型除雪機リース補助の試行、冬のルール順守やマナー向上に向けた取組を実施

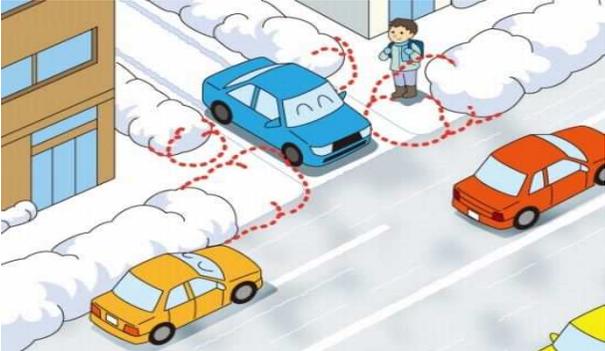
- ・ プラン検証等業務 20,840千円
- ・ 小型除雪機リース補助 1,200千円
- ・ 広報、啓発等業務 32,960千円

② 交差点排雪の強化

[事業費740,000千円]

見通し改善による安全確保のため、交差点排雪を効果的に行う体制を新設し、交通量の多い幹線道路と生活道路との交差点を中心に交差点排雪を強化

- ・ 交差点排雪強化 740,000千円



交差点排雪強化のイメージ

都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
拠点のまちづくりの推進

目的

地域の生活を支える主要な拠点である地域交流拠点において、生活利便機能や公共機能などの多様な都市機能の誘導を図るため、土地区画整理事業などの基盤整備を推進

(単位：千円)

		H26当初予算	H27当初予算	H27補正予算
①	事業費	3,500	0	69,500
	(うち一般財源)	(3,500)	(0)	(69,500)
②	事業費	69,000	0	94,000
	(うち一般財源)	(62,000)	(0)	(85,000)
H27補正予算 特定財源の内訳		②国庫支出金9,000		

① 新さっぽろ駅周辺地区まちづくり推進事業

[事業費 69,500千円]

地下鉄始発駅（ゲートウェイ拠点）の重点的な整備の促進を目指し、市営住宅余剰地の活用に向けた調査等を実施

- ・ 公募型プロポーザル準備 8,700千円
- ・ 街区整備調査・設計 60,800千円



② 篠路駅周辺地区まちづくり推進事業

[事業費 94,000千円]

北区北部の拠点としてふさわしいまちづくりを進めるため、土地区画整理事業や鉄道高架事業の実施に向けた調査を実施

- ・ 土地区画整理事業調査 12,000千円
- ・ 連続立体交差事業調査 82,000千円



都市・  
環境

～魅力と活力にあふれた暮らしやすい街  
市街地再開発事業の推進

目的

民間投資を最大限に活用し、都心及び拠点にふさわしい土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、再開発事業を推進

事業内容

民間再開発事業の施行者に調査設計計画費、土地整備費等の一部を補助

(単位：千円)

		H 26当初予算	H 27当初予算	H 27補正予算
①	事業費	441,000	0	997,000
	(うち一般財源)	(63,500)	(0)	(72,500)
②	事業費	156,000	0	380,000
	(うち一般財源)	(27,000)	(0)	(47,000)
③	事業費	54,000	0	388,000
	(うち一般財源)	(27,000)	(0)	(29,000)
H27補正予算 特定財源の内訳		①国庫支出金498,500、市債426,000 ②国庫支出金190,000、市債143,000 ③国庫支出金194,000、市債165,000		

① 北8西1地区再開発事業

[総事業費約410億円、総補助額約72億円]

<計画内容> [27年度事業費997,000千円]

規模：地上50階、地下2階  
延床面積：約121,500㎡  
用途：共同住宅(約600戸)、  
医療・福祉施設、  
商業等

<スケジュール>

平成27年度：実施設計等  
平成28年度：工事着手  
平成31年度：工事しゅん功



② 南2西3南西地区再開発事業

[総事業費約240億円、総補助額約64億円]

<計画内容> [27年度事業費380,000千円]

規模：地上28階、地下2階  
延床面積：約44,000㎡  
用途：商業、共同住宅(約130戸)、  
業務施設等

<スケジュール>

平成27年度：実施設計等  
平成28年度：工事着手  
平成31年度：工事しゅん功



③ 北3東11周辺地区再開発事業

[総事業費約190億円、総補助額約28億円]

<計画内容> [27年度事業費388,000千円]

規模：地上25階 延床面積：約62,000㎡  
用途：共同住宅(約320戸)、商業、医療、  
高齢者向け住宅(約50戸)、業務

<スケジュール>

平成27年度：  
実施設計等  
平成28年度：  
工事着手  
平成32年度：  
工事しゅん功

